

広報

Nakijin

な き じん

2004年1月
338号



今帰仁村

● 今帰仁村の人口 男4,806人(-7) 女4,761人(+6) 計9,567人(-1)
世帯数3,538(+5) 平成15年11月30日現在
ホームページアドレス <http://www.nakijin.jp>

新年あけまして
おめでとう
ございます

今年もよろしく
お願いいたします

平成十六年元旦



村長 仲里 吉徳



「地方分権時代を生き抜く 活力あるむら」 づくりをめざして

年頭の ごあいさつ



助役
小那覇 安優



収入役
仲尾次 吉澄



教育長
山城 清光

新年あけましておめでとう
ございます。村民の皆様には
希望に満ちた新春をお迎えの
ことと、心からお慶び申し上
げます。

また、村行政にひとかたな
らぬご理解とご協力をいただ
きまして、心からお礼を申し
上げます。

さて、昨年を振り返ってみ
ますと日本経済は不況の長い
トンネルからいまだ抜けだせ
ず、それに伴う景気の低迷は
失業者の増加に拍車をかけて
いる状況であります。

また、昨年は日本政府並びに、
各自治体の財政悪化を理由に、
全国各地で市町村合併の議論
が高まり、地方分権時代のむ
らづくりを考えても、深刻化
する財政危機を考えても、市
町村の根本的な改革が今求め
られています。このように全
国的な合併のうねりの中で本
村にも大きな波が押し寄せて

おり、これを避けて通ること
はできません。

いづれにいたしましても、
合併決定の主役は村民であり、
村民との議論を深めながら、
本村の将来像を見据えていき
たいと考えております。

本村においては、現在、古宇
利架橋、運天港、今帰仁城跡な
どの村の三大プロジェクトの
早期実現に向けて順次取り組
んでいるところであります。

古宇利架橋につきましては、
平成十七年の完成を目標に工
事が急ピッチで進められてお
り、運天港におきましても平
成八年度から工事に着手した
伊是名フェリー埠頭が平成十
五年に供用を開始、引き続き、
伊平屋フェリー埠頭の整備も
実施されているところであり
ます。

さらに、世界遺産に登録さ
れた今帰仁城跡は、北部振興
事業により平成十三年から十

六年までの間、総事業費約八
億円をかけて城跡周辺の駐車
場及び、交流センター等の整
備が着々と進められています。
その他のソフト、ハード面の
事業も順調にその成果を納め
つつあります。

本村は、これまで行われて
きた諸施策の実績を踏まえ、
新たに策定された今帰仁村第
三次総合計画「基本構想」及び
「前期基本計画」に盛り込まれ
た諸施策を展開していくとと
もに、今後予測される高齢化、
高度情報化、国際化などにも
十分対応し得る行政運営を実
施してまいりたいと存じます。

どうか今後とも村民をはじ
め、村議会、関係各位のご協力
を賜りますようお願いを願ひ
申し上げます。

結びにあたり、迎えました
申年が皆様にとって夢と希望
にあふれた実り多い年であり
ますよう、ますますのご健康
とご繁栄を祈念申し上げます
て、年頭のごあいさつといた
します。

村の活性化に向けて 村内八カ所の事業所を視察

十二月五日、村役場課長会を中心におっぱ乳業や共栄社など村内八カ所の事業所の視察が行われました。

財政の硬直化や、市町村合併等大きな課題を抱えている中、村内事業所の現状を把握し、これからの村づくりをどう展開していくか、地域活性化の検討材料として大きな意味をもつもので、各事業所におい

て製造過程や販売ルート等のほか、雇用状況についての説明をうけました。

仲里吉徳村長は「豊かな村づくりを目指し、今回の事業所視察を地域の活性化に活かしていきたい」と話していた。御協力を頂きました事業所の皆様、お忙しい中大変ありがとうございました。



▲協力文を読み上げる宮城博政期成会長

平成十八年度完成に向けたワルミ架橋の用地買収が進まず整備が大きく遅れているため、名護市字我部の未買収地の地主、東プレ株式会社(本社、京都)野田貴之課長に、古宇利大橋建設期成会長の宮城博政さんが協力文を

ワルミ架橋用地の地主に 協力願

手渡した。 県土木建築部は、平成十六年度に古宇利架橋、平成十八年度にワルミ架橋の完成を目ざして、整備を進めているが当初計画より大きく遅れており、島の活性化に燃えている鳥民が不安を抱いている。



◀作業内容などを説明する湧川さん(右)、湧川織物工房

兼次小で道徳教育の 研究発表会

「地域の人材を活用した 道徳教育を实践」

「未来を拓く豊かな心をもち、実践する兼次っ子」をテーマに十一月二十八日、兼次小学校で研究発表会が開催された。

兼次小学校は、文部科学省・村教育委員会指定「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業指定校」として最終年度の発表会。公開授業や全体での発

表会が行われ、国頭教育事務所管内の教育関係者や保護者約百四十人が参観した。

一年から六年まですべての学級で行われた公開授業では、教育活動に対して協力を惜しまない地域の人が、ゲストティーチャーとして参加。郷土の伝統芸能との関わりや、すばらしい沖縄の海の保全などを話し「地域の人材を活用した道徳学習」の授業が行われた。

全体会では、父母や子供会の発表もあり諸志子供会が字の伝統芸能「やくざい」を披露した。

国頭教育事務所の玉城節子指導主事は「子供たちが道徳の授業は楽しいと感じたことは、教師冥利につきます。地域と密接に連係した教育ができています」と語った。



▶駅伝の素晴らしさを語るゲストティーチャーの山城嘉さん

北山回想

(統編) 落ち穂拾いの記(十)



第五十一回県高校駅伝優勝の感慨

運天政一



今帰仁村の皆さん 明けましておめでとうございます。新年号ですので おめでたついでに、二十一年ぶりの県大会優勝を讃え、往時を振り返りつつ、これにまつわる話をしてみたいと思います。

去る十一月十四日 村のコミュニティセンターで優勝祝賀激励会があり、連絡を受けて出席、久しぶりにこの会場で村の関係者や懐かしい面々

と対面し、話は大いに弾んだ。

ギリシャの歴史家ツキジデ

スの言葉に「歴史は繰り返す」というのがある。第五十一回

の県大会優勝祝賀会に、五十年前の第一回大会で優勝した

ときのメンバーの一人・大村

光洋氏(本部町議・七期)が、

駅伝部後援会長として登壇し、

これまでの経過と全国へ向けての協力依頼を述べていたが、

半世紀を隔てて激励を受けた

生徒たちは五十年前をどう受け止めたのか。私には伝統の

重みをしみじみ感じさせられるひとときであった。

思えば去年の一月 新人大大会に初優勝し「古豪」の健在を

県下に示し、弾みを付けて一気に「都大路」につなぐ本大会に優勝したわけだが、この

五十年の間にはもう一つの山があった。それは第二十九回、

三十回大会における連続優勝である。そしてその時「都大路」を走った濱里正己(三十四期)が、今度は監督として

後輩(教え子)達を「都大路」に導いた。彼が果たした「歴史をつなぐ一里塚」の役割を

意義深く思うのである。

さて 私が校長で赴任した昭和六十年頃までは、この連続優勝の名残があった。駅伝部は夏休み中に、「都大路」を目指して古宇利島で合宿、私もその状況見聞に島を訪ねた

思い出がある。この年は陸上の記録も素晴らしいものがあった。男子では久田浩也(村

議・三十八期)が百・二百で優勝、女子では三輪(現姓・比嘉)直美(三十八期)が百・二百・四百・同リレーの四冠

をなし遂げて、女子は総合優勝をしている。

この時期にこの濱里正己と比嘉(現姓・大城)昭子(三十四期)の二人が教育実習生として母校の教壇に立った。

今でも深く印象に残っていることは、この二人が来て放課後の陸上部の練習が見違えるほど変わったことである。生徒の練習に馬力がかかり、入

れ込み方に輝きを増したのである。実績をもつ先輩二人の、現役教師に勝る影響力を強烈に感じたのを覚えている。

ご承知のように 昨今の大城昭子は豊見城南高校の十三連覇を阻み、名護高校に女子駅伝の連続優勝をもたらした。今度も三連覇で勝利し、北山と名護が北山OB同期生同士の両監督のもと、駒を揃えて

「都大路」に行けなかったのはいかにも残念であった。年頭にあたり大城昭子監督の捲

土重来を切に願うものである。ところで 去る祝賀激励会でも話題になったことだが、今北山高校では「一生懸命がかっこいい」を合言葉に、勉学に スポーツに 自治的な諸活動に励んでいるという。大変結構なことだ。素晴らしいことだと思ふ。だが世情を見るに、不登校は低年齢化し、青少年犯罪は増える一方である。思うに一生懸命に(なりたくても)なれない青少年が増えてきている。何故なれないのか。いろいろ事情がある

うが、自分の命を懸けて、青春を懸けて取り組めるものがない、懸けるものに出会えていないのであろうか。

それだけに「一生懸命がかっこいい」が合言葉にできる北山高校生諸君は頼もしい限りである。特に駅伝部の諸君には郷里の諸先輩方が築いてくれた最良の環境・高校駅伝公認コースがあるではないか。これで走らずにいられようかという心意気で、青春を懸けて走ってほしい、と一老先輩は思うこの頃である。



大城昭子監督



濱里正己監督

天底小の児童らが 今年も海浜を清掃

地域の海岸をみんなできれいにしようとして天底小学校（日高修校長）の子どもたちが十一月二十五日、運天区の「クンジャー浜」で清掃作業を行った。

子どもたちのほか、父母や職員からも参加。約百八十人が浜や道路沿いの空きカンやゴミを拾い集めた。

運天区の渡久山克幸区長は、「海岸がきれいになり、県外からも参加するスイムレース大会が開かれるようになった」と、子どもたちに感謝した。

作業の途中、浜の上空に第十一管区のヘリコプターがとつぜん現れ、激励文を投下、子どもたちを喜ばせる演出もあった。



北風の中、元気にゴミを拾う子供たち

区民が 全国大会出場の 愛さんを激励

渡喜仁区

豊見城南高校駅伝部で活躍し、全国高校駅伝大会に出場する与那嶺愛さん（渡喜仁一

一三二）の激励会が十二月五日、渡喜仁区公民館で開かれた。

愛さんは同区で畜産を営む与那嶺篤哉さんの次女。激励会には区民らおよそ五十人がかけつけ、石川清友区長は「一年生で全国大会に出場できるのはすごいこと。全国レベルの選手になってほしい」とエールを送った。

高校入学後に力をつけてきた愛さんは、県大会で四区を走り区間賞を獲得。豊見城南高の優勝に大きく貢献した。



「せいっぱい頑張ります」と話す与那嶺愛さん

今帰仁中の 金城さんと宮里さんを表彰

税の作文コンテスト

受賞者は次のとおり

〔県納税貯蓄組合連合会 優秀賞〕
金城 彩織(今中三年)

〔北部納税貯蓄組合、組合長賞〕
宮里 悠(今中三年)

〔租税教育推進校〕
名護税務署長賞、感謝状
今帰仁中学校

二〇〇三年度「高校生・中学生の税に関する作文」の表彰状の伝達式が十二月二日、今帰仁中学校で行われた。この「作文」は中学生に税への関心を高めてもらおうと国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が毎年募集しており、今年は今帰仁中学校から百一編の応募があった。



宮里悠さん



金城彩織さん

納税優良の 十二カ字を表彰

村納税表彰式

税金の納付に優秀な成績を上げた字を表彰し、税に対する認識を深めようと、十一月二十日、平成十五年度納税表彰式が村中央公民館で開催された。

村内各字の区長や関係者が見守る中、仲里吉徳村長から優秀な字に対して表彰状と記念品が贈られた。

今回表彰されたのは、村県民税、固定資産税、軽自動車税



▶六年連続100%納付の
運天区



▲作文・標語コンクールの表彰式も行われた

の三税について100%納付のあった崎山、越地、渡喜仁、運天の四カ字と九十五%以上を達成した兼次、与那嶺、仲尾次、呉我山、天底、勢理客、上運天、古宇利の八カ字。

また、「税の作文・標語コンクール」には、作文の部に百四十八点、標語の部に二百五十二点の応募があった。

今月号では作文の部で優秀賞に選ばれた作品を紹介いたします。

『支え合う 暮らし』

今帰仁中学校 三年
嘉陽 梨江



今、世の中は大きな企業でも倒産したりと不安定で、とても不況の中にあり、失業している人も多いということですから、今の厳しい現実の中、社会を支えるべき人が働く場がなくては、税金の滞納も増える一方だと思えます。だからといって、義務を放棄することはできません。

恵まれた環境の中で、学べることをとても幸せに思います。また、少子高齢化社会を向え、これからの暮らしを考えたい時、今、私達が税への義務と役割りなどに理解をしめしていかなければ、住みよい社会を得ることはできません。男女が平等に働いて、税金を納めています。今、納めていても、

税といってもいろいろな種類があり、多くの義務や役割があります。お金を稼いだときにかかる所得税、物を買うときにかかる消費税、貯めたお金や家、土地にかかる資産税などです。多くの税とのかわりの中で私達が日常生活の向上、豊かで安全な暮らしをするためにはどうしても負担しなければならぬということなんです。新聞の中に、県内の納税環境は復帰当時と比較すれば格段と良くなっている。しかし、沖縄県の国税の滞納率は依然として全国より高い水準にあるということなんです。私達の社会は、私達自身が平等に負担を分かち合うことだと思います。

もし、税を納めなければどういう社会になるだろうか。暮らしの安全な治安維持、病気やケガの手当てが十分でできない。道路の整備ができないうなど、そんな不便な生活が待っていると思うと、今の生活に感謝の気持ちでいっぱいです。私は、学生なので、両親が納める税金、多くの人々が納めた税金があつてこそ充実した学校生活を送れるのだと思います。例えば、教科書や校舎などの建築費など私達が気づかないようなところで多くの税金を使って、協力し合い支えているのです。中でも、最近できた私達の学校も多くの税金が使われています。校舎や体育館、備品なども充実しています。

自分達の将来が保障できるかどうか不安になる人々も多くいると思います。でも、中には、納めなくてもいいというような考えの人々もいます。しかし、私達は生活をしていくうえで、回りとのかかわりや健康、福祉などいろいろな事にかかわり合って生きています。税を納めてこそ、一人前の社会人という意識が必要だと思えます。税金は、人と人との支え合いで成り立っています。お互いに思いやる心をもって、気持ちよく納めることができるようになれば、よい社会づくりができると思います。

仲宗根チームが 久しぶりの優勝

村壮年ソフトボール大会

中高年者の健康増進と、地域の親睦を図ろうと村運動公園サブグラウンドで、第二十二回村壮年ソフトボール大会が十一月二十三日、二十六日の両日行われた。

十チームが参加した今大会は、A、Bブロックに分かれて、予選リーグから試合がはじまった。

中高年者の健康増進と、地域が二戦全勝となり、得失点差で兼次が決勝戦に進出。Bブロックは、仲宗根のみが全勝した。

決勝戦は、仲宗根が終始兼次を圧倒し、十三対〇の大差をつけて久しぶりの優勝を完封で飾った。

Aブロックは、兼次と今泊

殊勲賞、伊野波盛明(仲宗根)
敢闘賞、玉城 義克(兼次)

打撃賞

- 一位 新城 吉成(仲宗根)
- 二位 山城 直樹(仲宗根)
- 三位 山城 正樹(仲宗根)



金城ミートが 両運天パンダを 下して優勝

村バレーボールカーニバル

バレーボールを楽しみながら、底辺拡大をめざそうと村

バレーボールカーニバル(村体協主催)が十一月三十日、村民体育館で行われた。

大会には、「ずんぐりむっくり」や「コーヒー牛乳」などユニークなチーム名の八チームが参加して熱戦を繰り広げた。

予選リーグを制して決勝戦にコマを進めたのは、金城ミートと両運天ピンクパンダ。パワーに勝る金城ミートが一セットをおとしたものの両運天を下して優勝を飾った。



▶金城ミートと両運天の決勝戦

商工会が大接戦の末、連覇

村各種団体親善ソフトボール大会

村内の各種団体がソフトボールをとおして、交流を深めることを目的に第二十六回村各種団体親善ソフトボール大会が十二月二日、村運動公園サブグラウンドで行われた。

今大会も十人でプレーするスローピッチソフトボールを採用。九チームが参加してさわやかな汗を流した。

予選リーグを制して決勝戦に進出したのは去年につきき商工会対農業委員会の対戦となった。

決勝戦にふさわしく、両チームとも無得点のまま延長に突入。特別ルールが適用され三点をうばった商工会が必死にねばる農業委員会を一点におさえ、連覇をかざった。

大会終了後は、村コミュニティセンターで懇親会が開かれ、今大会の幹事団体、農業委員会の余興などを楽しみながら交流を深めた。



▲連覇を飾った商工会チーム

世界遺産 国際シンポジウム

グスク文化を 考える

東アジアの城郭遺跡を比較して

1月17日(土) 10:00~16:00(シンポジウム)
1月18日(日) 10:00~12:00(現場説明会)

会場/名護市民会館
記念講演/元興寺文化財研究所理事長 坪井 清足
記念講演/ボン大学文学部教授 ヨゼフ・クライナー

長年の活動が 評価された!

運天さんと當山さんが文化功労賞



▶運天さんと當山さん
(左から)

芸術文化の振興に功績のあった人に贈られる沖縄県文化協会賞の功労賞と、奨励賞を受賞した運天直子さん(仲宗根)と當山弘子さん(平敷)が報告の為、村役場を訪れた。

運天さんは、四十数年にわたり琉球箏曲の保存継承につとめ、當山さんは、永年書道文化の向上発展に尽くした功績が認められた。

地域の行事にも積極的に参加している運天さんは、「みなさんのおかげで賞がもらえた。うれしい」と率直に喜び、當山さんは、「これからも後輩のために頑張りたい」と語った。

世界的なマジシャン、 セロさんが故郷を訪問

父親が村天底区出身で世界的に活躍しているマジシャンのセロさん(本名・セロ高山)が十一月二十七日、村役場を訪れ、盛大な歓迎を受けた。

セロさんは父親の高山朝博さんらとともに、天底区に住む祖母のマサ子さん(天底一七三)を見舞いながら来村した。

村役場では座間味栄立村議会議長らが出迎え、セロさんがコインやカードを使った世界的なマジックを披露すると、一同はあざやかな手さばきに「すごい!」と驚きの声を上げた。



▲妙技を披露したセロさん(中央)

介護保険料の 徴収嘱託員の 配置

平成十五年四月より介護保険広域連合徴収嘱託員として、仲宗根明美さんを配置しました。皆さんの自宅を訪問の際には、よろしくお願いします。



仲宗根明美さん

看護師募集

只今村では、国保の助成による健康づくり事業を実施していますが、事業に協力できる看護師を募集しています。健康づくりに興味がある方はどなたでも構いません。一緒に活動しませんか?

内容: 訪問指導、健康相談、その他

〇問い合わせ先: 今帰仁村保健センター 電話 (56-1234)

2004 新春交流バドミントン大会

日時: 1月18日(日)午前9:30~

場所: 今帰仁村民体育館

種目: チビッコの部(小学生)8組
(ダブルス)

ジュニアの部(小学高学年~中学生)12組

一般の部(高校生以上)12組

スペシャルの部(経験者)8組

※定員に達し次第締め切ります

参加料: 一般(高校生以上)ペア500円

小学生(中学生)ペア300円(保険料込み)

主催: 総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会

今帰仁村教育委員会・今帰仁村体育協会

申し込み締め切り: 1月16日(金)まで

お問い合わせ: 今帰仁村民体育館(56-5955)宮里・上間

1月10日は 110番の日です。

110番 ためらわず すばやく

- 〇何があったのか
- 〇いつ、どこで
- 〇どんな様子か
- 〇犯人は
- 〇あなたの住所・名前・電話番号を



- ※携帯電話からの110番も出来ます。
- ※障害者の方のメール110番もあります。
- ※相談ごとは#9110

本部署今帰仁交番

介護保険料減免のお知らせ

【対象者】

下記の事項①～③のすべてに該当する方(例外として①～③のいずれか一つが欠けた場合でも④に該当する方)が対象となります。

- ①世帯の年間収入額が生活保護基準以下であること
- ②市町村民税課税者に扶養されていないこと
- ③資産等(自宅以外)を活用してもなお、生活が困窮している状態にあること
- ④その他、広域連合長が上記に準ずると認める者

【承認後の介護保険料】

今帰仁村 第3ランク

(月額単位:円)

区分	対象者	保険料率	保険料月額	保険料月額
第1段階	生活保護受給者 老齢福祉年金受給者で世帯全員が住民税非課税	基準額×0.5	2,617	1,308
第2段階	世帯全員が住民税非課税	基準額×0.75	3,917	2,617
第3段階	本人が住民税非課税	基準額	5,225	
第4段階	本人が住民税課税で前年所得額が200万円未満の方	基準額×1.25	6,533	
第5段階	本人が住民税課税で前年所得額が200万円以上の方	基準額×1.5	7,842	

※保険料の減額は、承認されたのち変更されます。(ただし、承認前の納期に係る保険料は減額されません。)

【申請に必要なもの】

○持参していただくもの

- ・印鑑(認印可)
- ・年金支給通知書等(年金額が確認できるもの)
- ・被保険者の世帯全員の預金、貯金通帳
- ・有価証券
- ・身体障害者手帳
- ・加入している健康保険証
- ・ご本人及び世帯に働いている方がいる場合
給与証明、また事業をしている場合は所得の収支が確認できるもの

○市町村役場にて発行してもらうもの

- ・資産評価証明書(資産がない場合は無資産証明書)

【問い合わせ先】

○沖縄県介護保険広域連合

〒904-0197

沖縄県中頭郡北谷町北谷2丁目6番地2

TEL 098-921-7802(業務課賦課徴収係)

村役場保険予防課 TEL56-2101

沖縄県介護保険広域連合 職員採用試験

職 種	一般行政職
候補者数	若干名
従事する事務	介護保険に関する事務
受験資格	保健師国家試験免許取得者又は 取得見込者
第一次試験	平成16年2月15日(日)
受験申込方法	所定の申込用紙を平成16年1 月8日より沖縄県介護保険広域 連合事務所で交付します。郵送 も「可」
受付期間	平成16年1月8日(木)～ 平成16年1月28日(水)
お問い合わせ	沖縄県介護保険広域連合 総務課 098-921-7801

「人間ドック及び脳ドックの受診助成に まだ余裕があります。」

健康づくりでさわやかな笑顔 自分の健康は自分で守ろう!!

○対象者 国民健康保険加入者
30歳以上71歳未満(老人医療受給者を除く。)

○費用負担 受診料の助成額は20,000円です。
越えた分は自己負担になります。

○予定人員 50名(保険税完納世帯を優先とします。)

○健診委託機関 ①北部地区医師会病院 ②ひだか脳神経外科
③県立北部病院 ④宮里病院 ⑤今帰仁診療所

健診期間 平成15年10月1日～平成16年2月27日まで 申込期間 平成15年9月18日から予定人員に達するまで

※人間ドック・脳ドック両方の申し込みはできません。一般住民健診を受診した方は人間ドックの受診はできません。

問合せ 村役場保険予防課 国民健康保険係電話56-2101(内線124.126)

**保健師
だより**

水中運動教室が 終了!

水中運動教室は、膝痛・腰痛でお悩みの方、積極的に体重を減らしたいと考えている方のための教室です。この教室の特徴は、水中運動だけでなく、より効果的な生活習慣の見直しが出来るよう、栄養についての講話・食事アドバイスなど様々なプログラムを実施します。今年度も二十六名の参加申し込みがありました。週一回、約四ヶ月の教室を無事、終了することが出来ました。



▲理学療法士による膝・腰痛のお話



▲栄養士が一人一人へ食事のアドバイス



▲プールでは水中ウォーキング・体操を楽しく実施!

教室に参加された方からの感想や体の変化についてアンケート結果からご紹介したいと思います。

教室は終了しましたが、今年度の参加者には、グループまたは個人で水中運動を継続されてる方もいます。健康づくりのため、マイペースで今後も頑張っ

感想

「膝の痛みが良くなり喜んでます。」
「有意義な教室。一生の趣味にします。」
「楽しく教室に参加できた。」
「膝が痛かったが床に座れるようになった。」

体の変化

・膝・腰の痛みの軽減 9名
・体調が良くなった 8名
・体重が減った 7名
などなど…。



2004年 **1** 月 / 睦月

1 木	○元旦
2 金	○第26回新春ロードレース大会 (8:00 受付・9:00 開会式)
3 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
4 日	○新年の集い ○成人式
5 月	○仕事始め
6 火	○区長会 ○村内小中学校 始業式
7 水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)
8 木	
9 金	
10 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
11 日	○乙羽朝市 (7:00~ 中央公民館)
12 月	成人の日 ○新春もちつき大会 (10:30~ 中央公民館)
13 火	○保健推進員育成教室 ○ゆいまーる (諸志)
14 水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○ゆいまーる (呉我山)
15 木	○ゆいまーる (今泊)
16 金	○牛セリ市 (10:30~) ○今帰仁郷友会新年会
17 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
18 日	○新春交流バドミントン大会 (村民体育館) ○ウォーキングの集い (7:00~ 保健センター)
19 月	○健康相談 (8:30~11:30) ○ゆいまーる (仲尾次)
20 火	○区長会 ○ゆいまーる (運天)

21 水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○漁民レクリエーション ○ゆいまーる (古宇利)
22 木	○旧正月
23 金	○ゆいまーる (渡喜仁) ○DPT (12:30~)
24 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
25 日	
26 月	○健康相談 (8:30~11:30) ○第11回沖縄県高校新人駅伝大会 (10:00スタート 運動公園)
27 火	
28 水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○総合型地域スポーツクラブ講習会 (18:30~ コミセン)
29 木	○デイケア
30 金	
31 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)

2004年 **2** 月 / 如月

1 日	
2 月	○健康相談 (8:30~11:30)
3 火	○ゆいまーる (与那嶺)
4 水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)
5 木	○区長会
6 金	○麻疹 (12:30~)
7 土	○第27回沖縄一周市郡対抗駅伝大会 ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)

ご寄付
村社会福祉協議会へ

○上地完誠さん(天底四六三)より母、ウト様の香典返しとして五万円
 ○上間敏雄さん(崎山三八四)より母、静子様のカジマヤー祝い返しとして十万円
 ○大城武雄さん(平敷三六)より母、花子様の香典返しとして十万円
 ○玉城悦子さん(古宇利六九)より母、田港フミ様の香典返しとして五万円
 ○玉城信雄さん(越地五六三)より父、真盛様の香典返しとして十万円
 ○嘉数時子さん(今泊一五七)より夫、安喜様の香典返しとして十万円
 ○パンフラワー花の和今婦仁教室(天底四三)より、文化祭での作品販売の売上金から一万五千元
村育英会へ
 ○大城武雄さん(平敷三六)より母、花子様の香典返しとして十万円
 ご芳志ありがとうございました。

第6回「健康ウォーキングの集い」
参加者募集

・期 日 1月18日(日)
 (毎月第3日曜日開催)

・集合・受付 午前7時、保健センター

・スタート 午前7時15分


・距離 約3km~8km

・解散 午前9時

※注 意 1. 軽装で必ず帽子着用
 2. 水筒持参でお願いします。

・コースは会場(保健センター)で説明
 主催・今帰仁村役場 主管・保健予防課

問い合わせ先 保健センター(島袋)
TEL56-1234



バラエティに富んだ歌声を楽しむ

本部町、大阪からも参加

今帰仁ミヤークニー大会

即興で歌い、わが今帰仁村が発祥地だと言われている民謡、ミヤークニーを披露し合う「今帰仁ミヤークニー、謡う・聴く」が十一月二十九日村コミュニティセンターで開かれた。

三回目となる今年は、十四人が出場し自慢の歌声を披露。本部町からも四人が参加して歌詞に地名が多い本部ミヤークニーを歌い上げた。

出場者中、最高齢者の渡名喜長榮さん(仲尾次、九十歳)が明治の大先輩から習った、味のあるミヤークニーを聴かせた。また祖父母が村出身で大阪在住の与那嶺美香さん(中学二年)が一週間特訓した成果を披露し、会場を盛り上げた。

舞台発表の前には、諸志区出身の新城紀秀さんが「毛あしび」や「ミヤークニー」について語り、今泊サミー研究会



▲明治時代のミヤークニーを披露した渡名喜長榮さん(左)



▲大阪からかけつけた与那嶺美香さん

が新築や出産などの祝いの席で行われ、掛け声やしぐさが面白い「サミー」を披露した。

村婦人会が初めてソフトバレーボールを楽しむ



▲優勝した仲宗根Bチーム

日頃、スポーツに親しむ機会の少ない婦人会員が楽しみながら親睦を図ろうと、第一回村婦人ソフトバレーボール大会が十一月十六日、村民体育館で行われた。ゲームは、会員が参加しやすいようにと、選手交代が何度でも可能なローカルルールを適用。九チームが熱い戦いを繰り広げた。

決勝戦は、仲宗根Bと玉城が対戦。二セットを連取した仲宗根Bが、初のソフトバレーボール大会を制した。

大会を楽しんだ我那覇トシ子婦人会長は「若い人も年輩者も楽しそうに生き生きとプレーしていた」と話していた。

シリーズ今帰仁の動物たち 20

オオコノハズク

—フクロウ科—

平地から山地の林に生息し一年中見ることが出来る留鳥。日中は木の茂みや樹洞で休息し夕暮れから活動。羽音をたてずに飛ぶことができ主にネズミ類を捕り、ヤモリや昆虫等も捕ります。

写真は足指に羽毛が生えていないことからリュウキユウオオコノハズクと思われる。

フクロウ類は、古代ギリシャの女神アテナの持ち物で知恵の象徴とされていました。今では、縁起物とされ色々なグッズがあります。

フクロウ類にあやかり今年もいい年でありますように。

観察地 (村内各地)

沖縄県鳥獣保護員 (仲村渠智)



今泊